

第1回 学校デザイン部会 会議報告

日 時:令和7年1月27日(月)

16時~17時

場 所:川岸小学校2階 ふれあい教室

○次 第

- 1 開会
- 2 自己紹介
- 3 部会の役割と会議の進め方について
- 4 意見交換
- 5 閉会

○部会で確認した内容

- ・本部会の役割と会議の進めかたについて
- ・「グランドデザイン(案)」と「川岸学園構想のめざすもの(案)」について
- ・目指す義務教育学校のイメージを部会内で話し合い一つにまとめる

○目指す義務教育学校のイメージ（意見からピックアップ）

- ・児童生徒に一体感のある学校にしたい。
- ・チャレンジがたくさんできる学校にしたい。
- ・地域の方々が普段から入れるような学校にしたい。
- ・自分が住んでいる地域に対して誇りを持てるような学校にしたい。
- ・生徒同士の仲が良いので、その良さを継続した学校にしたい。

○部会で出された主な意見

- ・仮設校舎の場所はどうなるか。体育の授業ができるかが気になる。
- ・義務教育学校は人間関係が固定化される可能性があるため、異学年との交流も大切。
- ・令和9年度の開校を機に、すべてが完璧な学校ができるとは考えていない。開校後も常に検討をして、より良い学校にしていく必要がある。
- ・現在の川岸小学校では、総合的な活動の時間に力を入れている先生も多いため、チャレンジがたくさんできる学校にしたい。何度もチャレンジができればしっかりと身につく学習ができる。これは生徒に限らず先生にも言えること。
- ・現在でも、イベントや用事があれば、地域の方が来校することもあるが、今以上に地域とつながりやすい学校にしたい。
- ・義務教育学校化するのなら、今と何も変わらないのでは駄目。職員が一つになり、小学校の先生が中学校の授業をするようなこともあると思っている。

- ・とても良い生徒が多い。生徒同士でいがみ合うことがないと感じている。川岸地区の良さを継続した新たな学校にしたい。
- ・今年度の総合的な学習の時間で、物品の販売をしたが、利益をどのように使うか児童たちが考えた時に、川岸小学校の修繕に使ったり、川岸学園に寄付したいという話が出た。児童たちの、地域に対する温かいまなざしを感じた。自分が住んでいる地域に対して誇りを持てるような学校にしたい。
- ・他の学校と比べると人数は少ないかもしれないが、多様な児童が多い。授業参観も家庭状況によって柔軟に対応できるような形にしたい。
- ・グランドデザイン(案)に「川岸プライド」という言葉があるが、とても素晴らしい言葉だと思う。この言葉を聞いて、何を思い浮かべるか、各学年に聞いてみたいと思った。また、資料の「川岸学園のめざすもの」にて、「学び直し」や「チャレンジ」についても記述があり、人によって学習の進め方が異なるということを学校全体で認めることができれば良いと思う。
- ・中学校の先生が、小学校に行って、数学、国語、体育をしてくれるようなことがあれば、小学生はとてもわくわくする。より専門的な内容の授業に対する期待感があるため。
- ・中学校の先生が小学校で授業をするだけでなく、小学校の先生が中学校に行って授業をする事例もある。小中の壁を超えて様々な取り組みが可能だと思う。
- ・教科担任制は、より専門的な内容の授業が受けられるというメリットがあるが、学級担任の位置付けが不明確になる可能性もある。不登校を心配する保護者の方もいるため、様々な先生とのつながりを大切にしながら教科担任制を進めてほしい。
- ・本日のように、皆さんの夢や意見をざっくばらんに出していただくことも大切だが、現在の川岸小学校と岡谷西部中学校で大切にしていることをまとめて、何を引き継いでいくか、期限を定めて確定させることも大切。
- ・9年間を、どのように分けていくか。例えば今と同様に6年と3年に分けるか。4年、3年、2年に分けるかによって施設の利用状況も変わってくる。
- ・義務教育学校になることによってどんなメリットがあるか考えた時、小学生にとっては、近くに中学生という年上の憧れの存在が近くにいることであり、中学生にとっては地域の方々という年上の方々と触れ合うことができる点にあると思う。また、先生方も子どもの成長を9年間にわたって見ることができ、それぞれの立場にメリットがあると思う。今回の部会のように、それぞれの想いや夢を語る場面を大切にしたい。

○次回の部会での検討事項

- ・今後も大切にしていきたい川岸小学校や岡谷西部中学校の良さをまとめる。

○次回の日程について

- ・令和7年3月4日(火) 開催予定